

# オーストラリア 乳業界概要



THRIVE  
TOGETHER  
WITH AUSTRALIAN DAIRY

世界有数の輸出国であるオーストラリアは、より健康な世界のために安全で栄養価の高い乳製品を提供することで知られています。

これは、乳業地域の自然のままの大地、澄んだ空気や水、厳格な食品安全システムと、世界をリードする「オーストラリア乳業持続性枠組み」に裏打ちされたものです。

大小さまざまな酪農家やメーカーが存在し、年間を通じて世界クラスの乳製品や食材を幅広く提供することが可能であり、サプライチェーン全体で、酪農家から大切な世界のパートナーの皆様まで、皆が繁栄する前向きな文化を創り出すために力を合わせています。







82%の酪農家が自身の  
ビジネスの将来に自信  
を持っています (2021  
年比2%増)

2022年全国酪農家調査(NDFS)

## 酪農場

オーストラリア乳業は8つの主要な地域から成り立ち、それぞれが独自の風土、気候、農場システムを有し、年間を通じて供給される乳から、栄養価の高いさまざまな乳製品を製造しています。オーストラリアには約4,500戸の酪農場があり、毎年85億リットルの乳を生産し、32%は輸出されています。

業界は主に牧草基盤であり、ほとんどの乳牛は自由に草を食み、一部補填飼料が給餌されています。

オーストラリアの酪農家は、家畜と環境に対して最高の配慮を払うことに尽力しています。世界をリードする「オーストラリア乳業持続可能性枠組み」に基づき、業界はDairy BioやDairy Feedbaseなどの研究・革新プログラムに多額の投資を行い、酪農家に牛群と飼料の生産性向上をもたらす変革を提供しています。革新は、農場の水利用を改善し、メタンガス排出を削減するプログラムにも及んでいます。より賢明な農場運営により、酪農業が次世代へと繁栄し続けることを保証しています。

## メーカー各社

オーストラリア乳業の大小さまざまなメーカーは、小売業、フードサービス業、接客業、製造業などの用途に適したさまざまな製品や原料を製造しています。

オーストラリア乳業界とメーカー各社は、長年にわたり貿易市場において関係を築き、アジアや世界の乳製品に対する知識と需要の向上に貢献してきました。国内市場、国際市場の両方に製品を供給してきた確かな歴史があり、酪農家やメーカーは、製品だけでなくパッケージや輸送についても、大量供給と特別仕様の両方の経験が豊富です。

さまざまなメーカーが顧客と直接取引し、市場の特定要件に合わせて製品を調整することで、現在も将来も、お客様が必要とするものを正確にお届けすることをお約束します。





# 製品

オーストラリア人は乳製品を好み、一人当たり年間約94.4リットルの乳を消費しており、これは他の先進国よりも高い数値です。国内の需要が旺盛な一方で、生産乳量の約3分の1は様々な製品に加工され、世界100カ国以上へ輸出されています。

## 乳製品の健康と栄養

飲用乳、チーズ、ヨーグルトなどの乳製品は、世界中の多くの食事ガイドラインで、健康的で持続可能な食生活のための栄養価の高い食品として認識されています。乳製品には、タンパク質やカルシウムなど10種類の必須栄養素が独自の形で含まれており、骨や筋肉を丈夫にするなど健康上のメリットがあります。オーストラリアの食事ガイドラインでは、飲用乳、チーズ、ヨーグルトの摂取が、心臓病、高血圧、2型糖尿病、代謝症候群、大腸がんのリスク低減につながる事が認識されています。

## 世界に誇る食の安全性

オーストラリア乳業は、「オーストラリア乳業持続可能性枠組み」の一環として、安全で栄養価の高い乳製品を世界中に提供することに尽力しています。これは、農場前から加工、お客様への輸送に至るまで、サプライチェーン全体に組み込まれた厳格な食品安全システムによって支えられています。2012年の枠組み導入以来、乳製品の残留農薬の不適合事例はなく、食品汚染による製品回収件数も少ないことが、オーストラリア製乳製品の安全性の基準の高さを証明しています。

## オーストラリアの製品構成

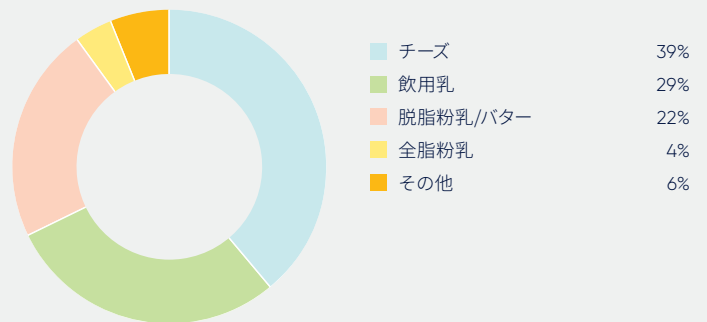
オーストラリアは、さまざまな製品を輸出向けに製造しています。現在輸出されているのは、粉乳、バターミルク粉、バターオイル、ラクtofelin、濃縮ホエイタンパクなどの加工用乳食材や栄養素材と、フレッシュ飲用乳、業務用および高級チーズ、バター、ヨーグルト、生クリーム、冷凍クリーム、アイスクリームなど多岐にわたるフードサービス、ベーカリー、小売製品です。

チーズは一貫して主力製品であり、生乳生産量の39%を占めています。加工用ナチュラル、モッツァレラ、クリームチーズから、ソフト熟成、フレッシュ、硬質チーズなどのスペシャリティーチーズまで、多種多様なチーズが製造されており、オーストラリアのメーカーの多文化、多様性を表しています。チェダーチーズからチェダー以外の種類へ移行する長期的な傾向が見られており、これは国内でも輸出でも明らかで、輸出売上高全体に占めるチェダー以外のチーズの割合は20年前の約60%から2020/21年には71%近くまで増加しました。

その次に大きな乳の用途は、飲用乳29%と脱脂粉乳/バター製造22%となっています。オーストラリアのメーカーは、脱脂粉乳(SMP)や全脂粉乳(WMP)など、さまざまな粉乳を製造しており、2020/21年の粉乳製造の3分の2近くをSMPが占めています。粉乳の製造と使用の両方で使用される技術により、メーカーが提供する製品仕様の範囲は、顧客のニーズに合わせて拡大しています。

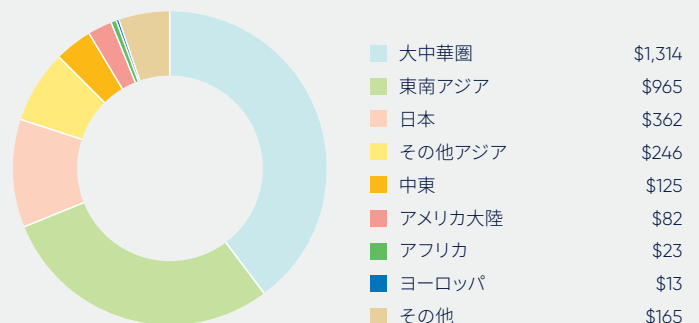


オーストラリア乳の用途2020/21年



出典: デーリーオーストラリア

オーストラリアの地域別輸出 2020/21年 (単位: 百万豪ドル)



出典: ABS (オーストラリア統計局)

# パートナーシップ

オーストラリア乳業界は、大切なグローバルパートナーと共に成長し、繁栄していくことに全力を注いでいます。

世界中で強力なパートナーシップを築いており、国際輸出のうち、88%はアジアに供給されています。2020/21年の金額でみた輸出先上位5カ国は、大中華圏、日本、マレーシア、インドネシア、シンガポールです。

オーストラリア乳業界は、好ましい政策環境を提供し、相互に有益な貿易関係を構築し、主要輸出市場の成長を支援するため、酪農家、輸出企業、行政機関と協力しています。

貿易ネットワークの一員として、デーリーオーストラリアは20年以上にわたり、主要市場で強力な貿易パートナーシップを構築してきました。デーリーオーストラリアの代表的なプログラムは国際スカラシッププログラムで、毎年主な貿易パートナーを招き、オーストラリア乳業を紹介する充実したプログラムに参加いただいています。20年以上にわたるこのプログラムは850名の同窓生を生み出し、同窓生は現在では輸出市場において地域業界に影響を持つ代表者となっています。

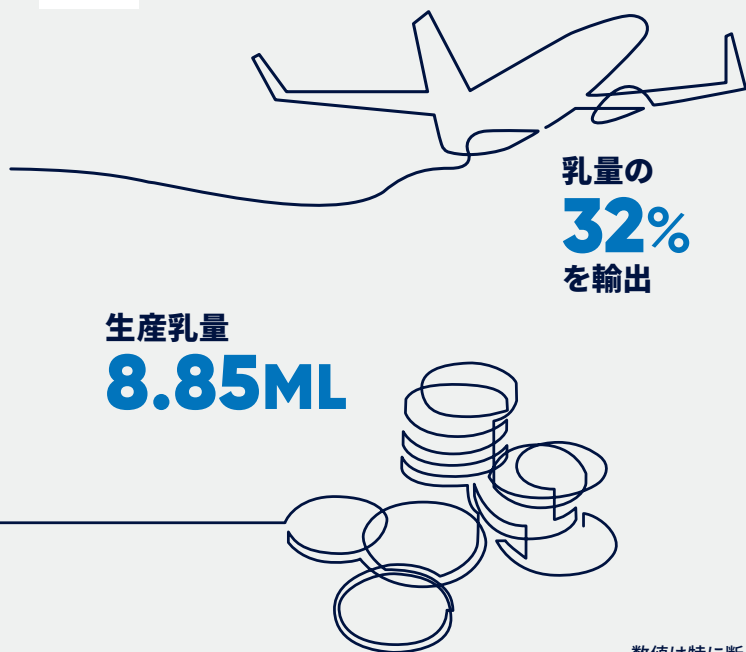
## さらに詳しい情報

さらに詳しい情報は  
[dairyaustralia.com.au/thrivetogether](http://dairyaustralia.com.au/thrivetogether)  
をご覧ください。QRコードを読み取ってください。



オーストラリアの乳製品は一貫して高品質で、価格に見合った価値を提供します。市場で消費者に高く評価されており、またフードサービス部門にも非常に適しています。

デーリーオーストラリア スカラシップ同窓生



### 主な輸出先トン数

大中華 318,507 t	シンガポール 70,717 t
日本 69,188 t	マレーシア 67,979 t
	インドネシア 52,323 t

数値は特に断りのない限り、Australian Dairy Industry In Focus 2021年から引用

#### 免責条項

本書の内容は、乳業界の業績、デーリーオーストラリアの取り組み等将来の事柄に関する記述を含め、作成時にデーリーオーストラリアが入手した情報に基づくものであり、デーリーオーストラリアは、内容に誤りや脱落がないことを保証せず、本書の使用または依存について一切の責任を負わない。さらに、この情報は特定の状況を考慮して作成されたものではなく、発行日以降は最新でない可能性がある。従って、本書で提供される情報を使用または信頼する前に、必ず自身で問い合わせを行い、専門家のアドバイスを受けること。